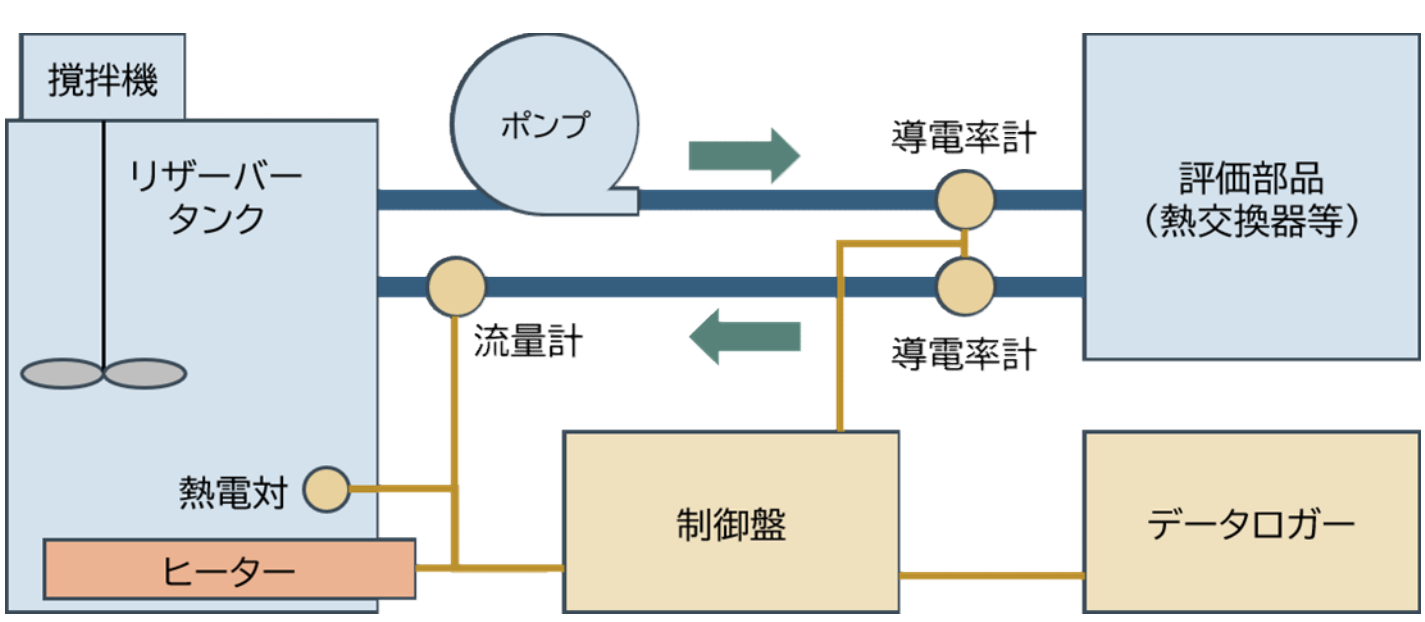
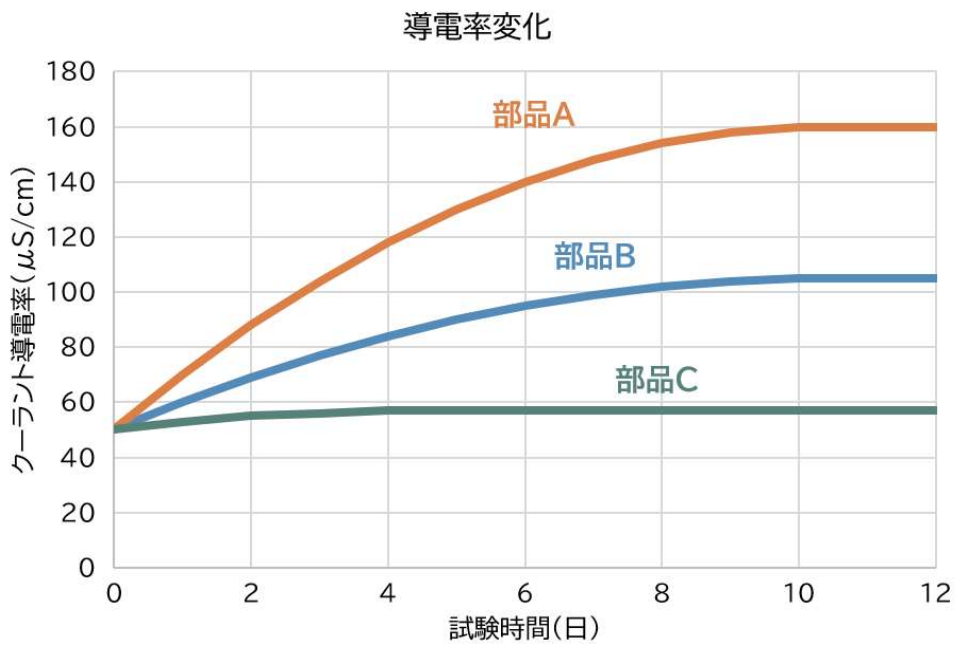
流体循環型電気伝導率計測装置

１．装置の機能・特徴

実車両と同様にクーラントが循環する環境を再現し、熱交換器やホース材などの部品から溶出した成分がクーラントの導電率に与える影響を評価する装置。循環経路内に導電率計を設置しているため、導電率の経時変化を連続的に測定することが可能。また、試験後の部品状態を観察することで、部品の劣化評価も実施できる。







２．主な仕様

評価部品：熱交換器・ホース等

流体：水・クーラント

液温：室温～80℃

導電率測定範囲：5～1,000μS/cm

設定可能流量：24～46L/min(無負荷時)

※本装置は「内閣府　地方大学・地域産業創生交付金」事業により導入しました。